

保護者各位

## 令和5年度 後期学校アンケート結果

富士市立吉永第一小学校  
校長 市川 典秀

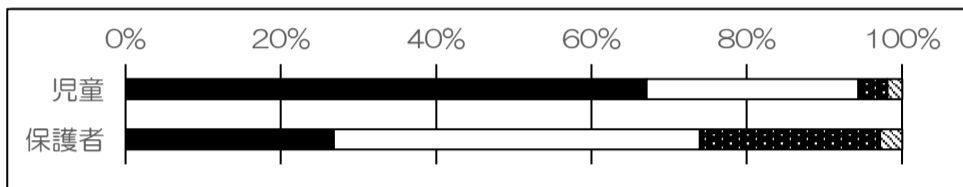
保護者の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

さて12月には、前期同様、「後期学校評価アンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。本校は、学校教育目標「あかるく やさしく たくましく」を目指し、重点目標を「みんなとかがえ やってみよう!!」とし、取り組んできました。結果を真摯に受け止め、いただいた意見を今後の教育活動、来年度の学校運営に生かしていきます。

グラウンドデザイン（PTA総会資料、もしくは、ホームページで御覧いただけます。）には、どのような子供を育てていきたいか「吉永一小的めざす子供像」が記されています。割合については、それぞれで四捨五入しているため合計が100%にならないところがあります。

1 学校や家、地域で自分から、おはよう、こんにちは、ありがとう、ごめんね、さようならなどの、あいさつができますか。グラウンドデザインにおける目標値：95%

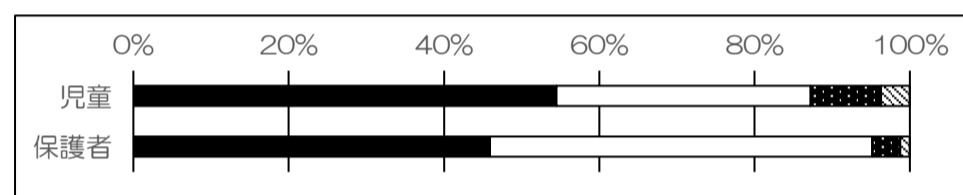
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	67%	27%	4%	2%
保護者	27%	47%	23%	3%



校内では1月9日から19日までを、あいさつ旬間として設定し、高学年を中心に校内に挨拶が広がるような活動がなされました。引き続き、地域でも校内と同じようにあいさつができるよう、事あるごとに教室で話題にしていきます。

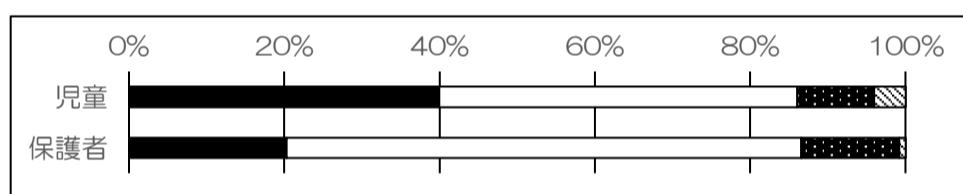
2 楽しく学校に通っている。グラウンドデザインにおける目標値：95%

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	55%	33%	9%	4%
保護者	46%	49%	4%	1%



3 相手の気持ちを考えた優しい言葉遣いができる。グラウンドデザインにおける目標値：90%

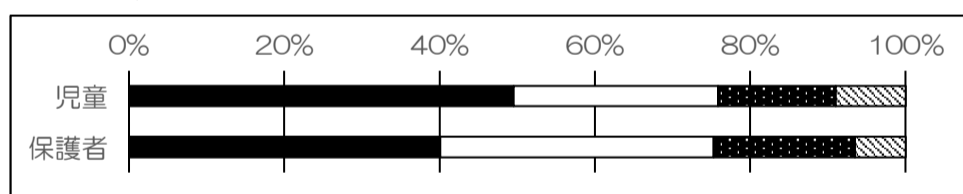
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	40%	46%	10%	4%
保護者	20%	66%	13%	1%



楽しく学校に通っていると回答した児童・保護者の割合は、前期とほぼ同割合となりました。子供たちはメディアや周りの大人に影響を受けて生活しています。学校では引き続き、温かな言葉遣いが交わされる人間関係づくりや社会的コミュニケーションスキルの向上に努めていきます。御家庭での粘り強い声掛けも、引き続きお願いいたします。

4 進んで外遊びをしている。グラウンドデザインにおける目標値：90%

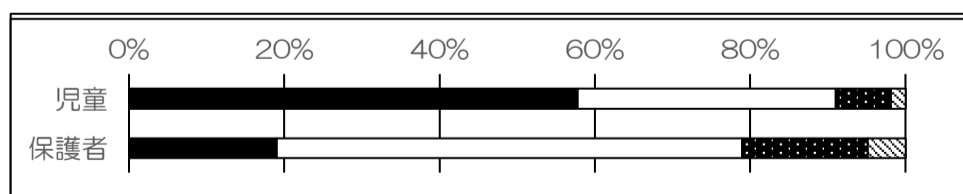
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	50%	26%	15%	9%
保護者	40%	35%	18%	6%



子供たち自身は委員会活動や学級の取組などのため、外遊びへ出られないこともあったと考えたり、体調を崩して外遊びに行きたくても行けなかったりしたため、「そう思う・どちらかと言えばそう思う」の回答が微減する結果になったものと思われます。外遊びだけでなく、積極的に清掃に取り組んだり、すすんで手伝いをする姿も多くみられるので、こうした様子も「体を動かす」と捉え、奨励していきます。

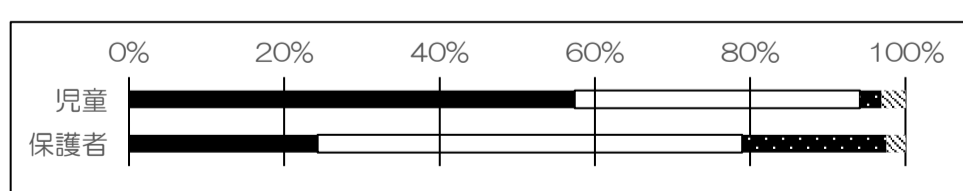
5 授業が分かる。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	58%	33%	7%	2%
保護者	19%	60%	16%	5%



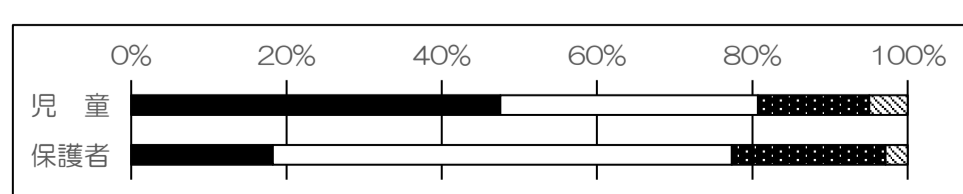
6 授業中、友達の思いを分かろうとして聴いている。グラウンドデザインにおける目標値：95%

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	57%	37%	3%	3%
保護者	24%	55%	19%	2%



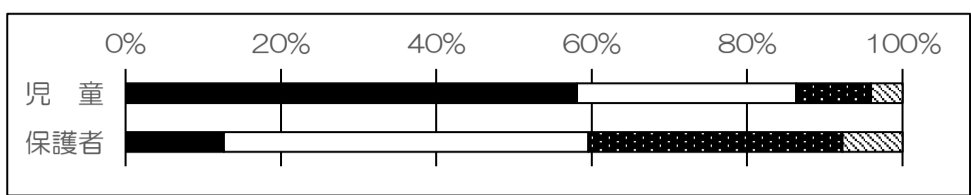
7 授業中、自分の考えを分かりやすく伝えようとしている。グラウンドデザインにおける目標値：90%

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	48%	33%	14%	5%
保護者	18%	59%	20%	3%



8 授業中、分からない時は、先生や友達にきくことができる。グランドデザインにおける目標値：90%

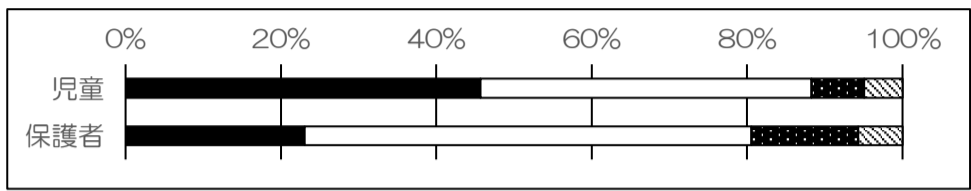
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	58%	28%	10%	4%
保護者	13%	47%	33%	8%



分からなかったら質問したり、もう一度聞き返したりすることで「聴く」習慣を身に付けようとして取り組んでいます。また、「伝える」ことに関しても、自分の考えを的確に伝えたり、分かりやすく話したりできるよう、グループワークやスピーチなどにおいて、結論から端的に伝える方法を指導したりしてきました。しかし、友達の思いを分かろうとして聴くことができたという項目以外、評価数値が微減しております。この結果を真摯に受け止め、これからも「対話できる子」を目指し、授業改善に取り組んでいきます。

9 授業でICT機器を使用している。

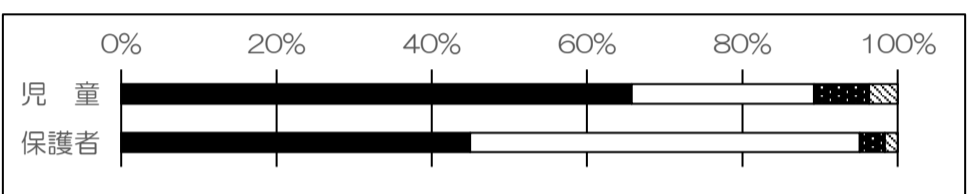
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	46%	43%	7%	5%
保護者	23%	57%	14%	6%



自分の考えをまとめて、提出・共有したり、タブレット内の交流ソフトを通じてお互いの考えを見合ったりして、話し合い・練り合い・対話するためのツールとして、学校ではタブレットを有効活用しています。また、今、電子黒板やプロジェクターなどを使った授業は、各教室で当たり前姿として見られます。1、2年生もAIDリルは勿論、国語・算数、図工や音楽といった技能教科でも使い始めています。ICT機器は今や学習に不可欠なものです。

10 学校に困ったことやなやみを相談できる人（先生や友達）がいる。

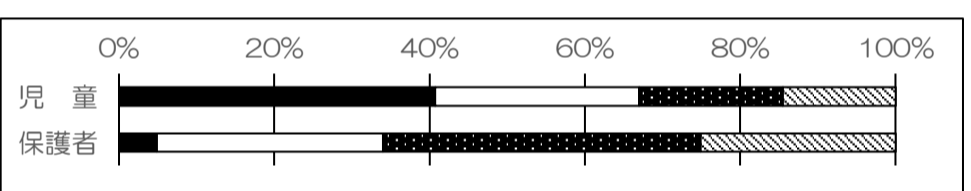
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	66%	23%	7%	4%
保護者	45%	50%	3%	2%



困ったことや相談できる相手が学校にいない保護者様・子供たちがいることを強く受け止め、職員一人一人に信頼されるような学校を目指していきます。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも子どもたちに寄り添い、話をたくさん聞いてくれます。関係する職員が一丸となり、今後とも、子どもたちが抱える課題や困り感を共有し、解決の糸口をつかむことができるよう、尽力いたします。

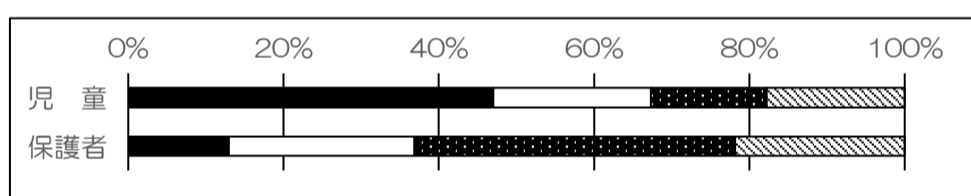
11 自分で計画を立てて、自主勉強や授業の復習をしている。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	41%	26%	19%	15%
保護者	5%	29%	41%	25%



12 家で読書をしている。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	47%	20%	15%	18%
保護者	13%	24%	41%	22%



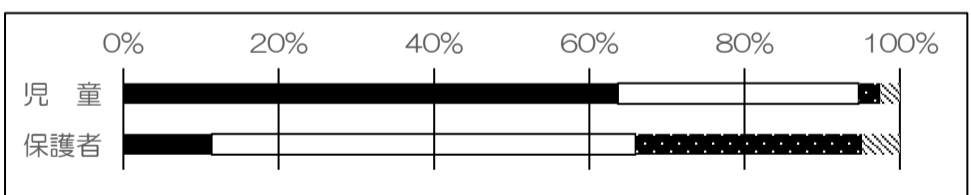
まだまだ計画的に自らすすんで学習をする習慣を身に付けていない子どもも少なくないようです。また、学校と同じように家庭で読書をしようにとする子どももあまり多くないようです。

例えば御家庭で、メディアに触れない日や家族で読書をする時間、読んだ本について語る時間を取っていただけたらと思います。

学校でも、朝読書や読み聞かせを行ったり、読書旬間を設けたりと、読書に親しむことができるよう努めております。

13 緊急時（地震・火災・不審者等）に自分の命を守るために適切な判断と行動をとることができる。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
児童	64%	31%	3%	2%
保護者	11%	55%	29%	5%



来年度も原田小、吉原三中との合同引き渡し訓練や防犯訓練などとおして自分の身を自分で守る方法を身に付けていきたいと考えます。

学校で身に付けた防災・防犯の知識が生かされ、自分の命を守るための適切な判断力が身に付いていることが御家族の皆様にも認知していただけるよう、事あるごとに防災や防犯を子供たちとの間の話題にしたいと思っております。